

公立保育所民営化 画期的な判決つづく

民営化強行した 寝屋川市の責任問われる

公立保育所の民営化について、注目すべき裁判所の判断がしめされています。

横浜市の市立保育園民営化問題で、五月二十二日、横浜地裁は保育所民営化を違法とし、原告団一世帯あたり十万円の支払いを命じました。

判決で、民営化した判断について「特別に民営化を急ぐ理由があったとは認められず、裁量の範囲を逸脱、乱用したもので違法」と指摘。民営化によって多様なニーズにこたえ

られるなどとした市側の主張は「早急な民営化を正当化する根拠としては不十分」だと断りました。

大東市の市立保育所民営化では、四月二十日、大阪高裁は保護者らに対する市の配慮義務違反を認定。一世帯

「あやめ」では 二十六人も転所

寝屋川市では市立あやめ保育所を四月から廃止し、民営化しました。職員がすべて入れかわり、十四人の保育士中九人が新卒の保育士という、公立と民間との大きな条件の違いの中、近隣の公立保育所などへの転所があいつぎました。

五月一日現在、私立あやめ保育園の入園児は八十一人、昨年同様の市立あやめ保育所の入所児は一〇六人、この間、転所した子どもは二十六人にもなりました。

について三十万円の慰謝料を支払うよう命じました。

判決では「市は移管先の新保育園での児童や保護者の不安を軽減するための義務を負っていた」と判断。市の対応が不十分だったとしました。

私立あやめ保育園に子どもが在園する保護者からも、子どもが転所した保護者からも「市が保護者の意見を無視して民営化を強行したことがいざいざの問題。市は保育水準の維持に責任をもつべき」とのこが寄せられています。

法律相談

とき: 6月15日(木)夜6時半より

ところ: 市民会館第3・4会議室

予約、お問い合わせは党市議員まで

視界

寝屋川市は
3期実施計画
策定方針」と

のA4三ページの文書を公表しました。〇七年度から三年間の実施計画を今年度策定することですが、この中で「全庁一体となった行財政改革の取り組みにより、あらゆる分野で実績、成果を上げることができました」と自賛していますが▼この間、「行革」の名で①次々と市民サービス切り捨てや市民負担増をってきたこと、②その一方、駅前再開発など大型開発は特別扱いしてきたこと、③国や府の悪政に追いついてきたこと、また④の反省はありませぬ▼方針では「市民の参画と透明性の確保」「説明責任を果たし、市民の理解と協力求め」ることなども書かれています。この点でも前回の反省は示されていません▼「第二期実施計画」を策定の際、パブリック・コメントでは計画案に反対ないし批判的意見が大半を占めたにもかかわらず、市は無視してすましました。大半の市民が詳しい内容を知らないまま計画を決めないよう、市民に知らせ、時間をかけて議論すべき」という意見も無視されました。新しい計画はこれらの反省の上になつて考えるべきで



寝屋川民報
議会版

発行
日本共産党
寝屋川市議員団
824-1181
(内線2399)
FAX No. 824-7760
Email: jpcnc@ccnet.or.jp
No. 1939

田中 ひさ子
国松町10-36
☎823-1714

寺本 とも子
豊里町38-1-105
☎829-9424

中林 かず三
宝町4-33
☎839-2289

中谷 光夫
高宮155-8
☎823-5947

松尾 信次
下木田町12-6
☎821-7427

教育基本法

改悪許すな

ねやがわ市民集会に 二百五十人が参加

寝屋川の教育を考える会と寝屋川労連、寝屋川革新懇は二十六日夜、「ストップ九条・教育基本法改悪ねやがわ市民集会」を開き、二百五十人が集まりました。



主催者を代表して井上圭史さん(元教育委員、教育を考える会長)は「06年が、戦争への分岐点だったとならないようにさっぱりとノーを訴えよう」と開会あいさつ。

日本共産党の宮本たけし前参議院議員が「小泉内閣は医療大改悪でお年寄りをいじめ

ておいて、米軍には三兆円を差し出す内閣です。こんな内閣は許せません。日本共産党は教育基本法改悪を絶対に許さないとの立場で、みなさんとともにたたかいます」とあいさつしました。

松村忠臣代表委員は「教育基本法改悪案には『国を愛する態度を養う』と書かれていますが、態度は人間の意志の表れです。それを教育基本法に書くことはあってはなりません」と力を込めました。

戦争する国の 人づくりの反対

寝屋川市教職員組合の東正男委員長は「今変えなければいけないのは教育基本法ではない、教育基本法を生かすことをサポータージュ

て報告。集会では「憲法・教育基本法改悪反対!改憲につながる悪法提案をもとめる特別決議」を拍手で確認しました。寝屋川市役所から寝屋川市駅までデモ行進しました。

こっこ保育所一周年

記念式典おこなわれる

三ヶ所の共同保育所「保育園」として出発しを廃止、統合し、認可した、「こっこ保育園」中

木田町)の一周年記念式典が、五月二十八日盛大に開催されました。

森川絃一氏(大阪教育文化センター)の講演、もちつき、うたごえ、劇などもおこなわれました。

太田くみ子党政府政策委員長、田中、寺本、松尾議員が出席しました。



議員日誌



松尾
信次

五月は府営住宅総合募集の月。「家賃の安い府営住宅に入居したい、私の聞く市民の要求は切実です。

でもなかなか当たりません、なんとつらいところです。「ムダな大型開発をやめ、府営住宅の新築など、身近な公共事業を、太田くみ子さんとともに、がんばりたいと思います。

ところが、大阪府が新築しないため空き家募集の戸数はごくわずか。申し込ん